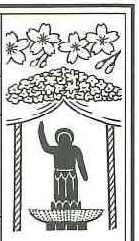

四月（小）卯月（うづき）

畢宿

（四月四日清明の節より月命庚辰九紫火星の月 暗剣殺南の方）

旧三月大 四月小

○望＝望月のことで、満月を指す

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	廿八宿	下段	日出入	月出入	満潮	干潮
1日	火	かのえ　ね	七赤	新学年、新会計年度、親鸞聖人誕生会、エープリルフール 旧三月大	四	赤口	おさん	翼	母倉	5.28 18.03	6.53 21.37	6.06 19.20	0.30 12.51
2日	水	かのと　うし	八白	日光輪王寺強飯式	五	先勝	ひらく	軫	五む日	5.26 18.03	7.35 22.53	6.28 20.12	1.00 13.30
3日	木	みづのえとら	九紫	隠元禅師忌、三隣亡、一粒万倍日	六	友引	とづ	角	大みゃう	5.25 18.04	8.26 —	6.51 21.15	1.27 14.15
4日	金	みづのと　う	一白	**清明**二一時四九分、奈良竜田大社祭、一粒万倍日	七	先負	とづ	亢		5.24 18.05	9.25 0.02	7.12 23.02	1.52 15.12
5日	土	きのえ　たつ	二黒	◐**上弦**一一時一五分、岐阜伊奈波祭、神道修成派大祭	八	佛滅	たつ	氐	大みゃう	5.22 18.06	10.29 1.01	7.31 —	2.14 16.38
6日	日	きのと　み	三碧	春の全国交通安全運動（15日迄）、香取神宮御田植祭、不成就日	九	大安	のぞく	房	神よし	5.21 18.07	11.36 1.49	2.42 —	— 18.27
7日	月	ひのえ　うま	四緑	世界保健デー、法然上人誕生会、三隣亡	十	赤口	みつ	心	神よし	5.19 18.08	12.41 2.29	2.58 13.06	8.56 19.50
8日	火	ひのとひつじ	五黄	**花まつり**、灌仏会	十一	先勝	たいら	尾	神よし	5.18 18.08	13.44 3.01	3.16 14.25	9.11 20.45
9日	水	つちのえさる	六白	笠間稲荷春季例大祭、長浜曳山祭（17日迄）	十二	友引	さだん	箕	くゑ日	5.17 18.09	14.44 3.28	3.35 15.12	9.35 21.27
10日	木	つちのととり	七赤	京都平野神社桜祭、京都松尾大社中酉大祭	十三	先負	とる	斗	神よし	5.15 18.10	15.43 3.53	3.53 15.51	10.00 22.02
11日	金	かのえ　いぬ	八白	メートル法公布記念日	十四	佛滅	やぶる	牛	大みゃう	5.14 18.11	16.39 4.15	4.11 16.26	10.26 22.35
12日	土	かのと　ゐ	九紫	世界宇宙飛行の日、大津日吉大社山王祭（15日迄）	十五	大安	あやぶ	女	●	5.13 18.12	17.36 4.37	4.30 17.00	10.52 23.05
13日	日	みづのえ　ね	一白	○**望**九時二二分、京都嵯峨虚空蔵十三詣り、京都今宮神社やすらい祭、八せん始め、一粒万倍日	十六	赤口	なる	虚	天おん	5.11 18.12	18.34 5.00	4.48 17.34	11.18 23.33
14日	月	みづのとうし	二黒	奈良当麻寺練供養、科学技術週間、不成就日	十七	先勝	おさん	危	十し	5.10 18.13	19.32 5.24	5.08 18.07	11.43 —
15日	火	きのえ　とら	三碧	高山山王祭	十八	友引	ひらく	室	ちいみ	5.09 18.14	20.32 5.52	5.28 18.41	0.00 12.09
16日	水	きのと　う	四緑	一粒万倍日	十九	先負	とづ	壁	神よし	5.07 18.15	21.33 6.24	5.49 19.17	0.26 12.36
17日	木	ひのえ　たつ	五黄	**土用**三時一六分	廿	佛滅	たつ	奎	大みゃう	5.06 18.16	22.32 7.02	6.11 19.56	0.52 13.04
18日	金	ひのと　み	六白	発明の日、天理教教祖誕生祭	廿一	大安	のぞく	婁	母倉	5.05 18.17	23.28 7.47	6.35 20.45	1.18 13.37
19日	土	つちのえうま	七赤	三隣亡	廿二	赤口	みつ	胃	母倉	5.03 18.17	— 8.40	7.00 21.54	1.47 14.19
20日	日	つちのとひつじ	八白	**穀雨**四時五六分、京都伏見稲荷神幸祭、復活祭、京都松尾大社神幸祭、郵政記念日、郵便週間	廿三	先勝	たいら	昴	神よし	5.02 18.18	0.19 9.40	7.30 23.53	2.26 15.21
21日	月	かのえ　さる	九紫	◑**下弦**一〇時三六分、庚申	廿四	友引	さだん	畢	大みゃう	5.01 18.19	1.03 10.45	8.18 —	4.04 17.01
22日	火	かのと　とり	一白	多賀大社古例大祭、靖国神社春祭、不成就日	廿五	先負	とる	觜	大みゃう	5.00 18.20	1.41 11.53	1.34 10.53	7.14 18.43
23日	水	みづのえいぬ	二黒		廿六	佛滅	やぶる	参	月とく	4.58 18.21	2.14 13.02	2.17 13.10	8.12 19.55
24日	木	みづのと　ゐ	三碧	八せん終り	廿七	大安	あやぶ	井	●	4.57 18.22	2.44 14.11	2.47 14.23	8.49 20.49
25日	金	きのえ　ね	四緑	奈良興福寺文殊会、甲子、一粒万倍日	廿八	赤口	なる	鬼	くゑ日	4.56 18.22	3.12 15.22	3.14 15.19	9.24 21.35
26日	土	きのと　うし	五黄		廿九	先勝	おさん	柳	十し	4.55 18.23	3.41 16.35	3.40 16.09	10.00 22.17
27日	日	ひのえ　とら	六白	和歌山道成寺会式	卅	友引	ひらく	星	くゑ日	4.54 18.24	4.11 17.51	4.07 16.58	10.36 22.57
28日	月	ひのと　う	七赤	●**朔**四時三一分、日蓮宗開宗会、一粒万倍日、奥州日高火防祭（29日迄） 旧四月小	朔	佛滅	とづ	張	くゑ日	4.53 18.25	4.45 19.09	4.33 17.47	11.14 23.35
29日	火	つちのえたつ	八白	⊡**昭和の日**、京都壬生狂言、米沢上杉まつり、御嶽山大教火渡祭	二	大安	たつ	翼	五む日	4.52 18.26	5.25 20.28	5.01 18.36	11.53 —
30日	水	つちのと　み	九紫	佐賀有田陶器市（29日〜5月5日）、己巳	三	赤口	のぞく	軫	母倉	4.50 18.27	6.13 21.43	5.29 19.26	0.11 12.34

※毎月大潮は朔、望の一〜二日後に起こり、小潮は上弦、下弦の一〜二日後に起こる。

◑下弦＝下弦の月を指す

役所、会社の年度始め、新学年、新入社等、新しい何かが動き始める躍動の月である。

気温は日一日と上がり、陽光も明るさと強さを増してくる。上旬には南のほうから桜前線が順調なペースで北上してこよう。

【冠】幼稚園から小学校、中学校、高等学校、大学まで、青少年たちにとって新入学は一つの関門、そして新学年はこれから始まる一年間のスタートラインである。

また、大きな転機として就職がある。社会人としての自覚と責任をたずさえて、荒海へと旅立つのだ。昔であればさしずめ初陣というところであろう。

【婚】陽気がよく、シーズンとしてはまことに最適といえよう。結婚式を挙げる人も多いが、披露宴などに招かれる人も多いに違いない。そんなとき、スピーチをする人は当然のこと、短い挨拶にも注意をしなければいけない。ことに縁起の悪い言葉を使わないことである。例えば、戻る、再び、去る、重ねる、返る（帰る）、離れる、薄い、…等、たかが言葉尻ではないか、と思うかもしれないが、めでたい人生の門出にトラブルがないほうが望ましい。

【祭】四月八日は、仏教の祖、釈迦牟尼（しゃかむに）が生まれた日である。釈迦はインドのヒマラヤ南麓の迦毘羅（かびら）城の王子として生まれ、幼名は悉達多（しったるた）といい、三十五歳で仏道の悟りを開いて後、八十歳で入滅するまで、四十五年間布教に専念されたという。

その釈迦誕生日、一般には「花まつり」といっているが、正式には灌仏会（かんぶつえ）、仏生会などと呼ばれ、花で飾った小さなお堂を作り、誕生仏の像をまん中に安置し、その頭上から竹柄杓で甘茶を三回そそいで拝むならわしがある。

二十九日は「昭和の日」、激動、多難の時代を歩まれ、太平のもとを切り拓かれた昭和天皇の誕生日である。（平成一九年施行）